

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域資源再活用型地域連携事業	
対象地域	大分県玖珠郡玖珠町森地区	
対象地域の概要	 <p>大分県</p>	 <p>【森地区の町並み】</p>  <p>【これまでのボランティア活動は高齢者が中心】</p>
提案内容の概要	<p>テーマ「日本一小さな城下町づくり」を推進する中、地域のネットワークと新たな地域コミュニティの構築が大切である。本事業を通じて住民参加型の意識改革を行い、日常活動に根ざした地域環境整備と、人と人との情報交換の場づくりを実施する。昨年度の調査及び住民ヒアリングの結果に基づき地域づくり活動に対する具体的方向を見出し、実践する。共通の活動を行う場として仮称「もりもりの日」を制定し、住民の環境や歴史・文化・伝統の継承等の実施を行い、地域の発展と今後の進むべき方向についての機会とする。</p>	
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>地域が高齢化し、歴史や伝統文化が衰退する中、地域住民によるボランティア活動を活性化する為に既存の組織に縛られずに活動する新たなコミュニティの構築を行う。その為にも、子供たちを活用した学習や親子の繋がりを利用したボランティア対策を実施し、地域の高齢者を利用した地域づくりを行う。急速に進む、城下町の無人家及び廃屋は後継者が帰郷する意思がなく、解体へと連なり、更なる過疎に連なる。周辺観光地の客数が大幅に増加する中、当地では数十年来変化がない。交流人口を増加させる事は将来必ず、土地家屋所有者である人々に対する大きなインパクトとなり地域活性化へと繋がる。少子高齢化は過疎の典型的課題である。貴重な自然と環境・歴史遺産を活用し、森地区を活かした新たな産業の創造と創意工夫による地域構築を行うことが緊急に必要である。地域の老若男女が一体となる住民ネットワークの構築を行い、安全安心が生まれる地域とする。その主体づくりを行い地域再構築の必要がある。</p>	
(2) 活動内容の案	<p>活動①：地域資源の活用と整備</p> <p>内容：</p> <p>活動の中心である「童話の里くす」のイメージを実現し、既存の資源を積極的に活用するために、地域住民による歴史遺産や自然環境を自らの手で整備を行うための新たな住民ネットワークを構築する。地域内の情報共有と地域外に対する情報伝達手段として情報パンフレット作成やインターネットホームページを活用し、利用しやすい環境を作る。</p> <p>これまでの中心城下町部分と周辺住宅(武家屋敷)の包括活用、又、地域内の自然や歴史との調和づくりによる動線づくり計画の策定。</p> <p>活動②：町並み清掃事業</p> <p>内容</p> <p>本活動のネットワークづくりの中心事業で、住民意識の啓発により地域連帯を構築し、これまで各団体がそれぞれ実施していた各種ボランティア活動を一本化して、地域内の統一した一斉作業を行う。城下町内のごみ拾い、水路の掃除、路地の片付け等身近な作業で助け合いを行う。周辺観光地の国道沿いや県・町道及び里道、山道の除草作業や補修作業による快適な環境づくりを行う。その為の多くのボランティアの助力をお願いして環境づくりをする。継続的な方法により地域環境づくりのシステムを住民サイドで構築する。</p> <p>活動③：森町PR事業</p>	

静かな佇まいの城下町、空き店舗や周辺施設を活用した賑わいの創出し街内での文化行事や催し物を開催し、来街者の増加を図る。その為に活動の中心である「童話の里くす」のイメージを実現する。既存の資源を積極的に活用した町づくりを資源とイメージ（心）として一体化した事業展開を実施する。その為には地域資源の情報提供を地区内はもちろん町内～町外へと発展させる必要がある。

平成20年度の調査、検討段階では地域内の諸問題が明らかとなった。歴史遺産や伝統文化を大切にする為の条件整備する事により、来街者を迎える整備作りが必要であり、人づくりと組織づくりが急務である来年度は地域コミュニティ元年と位置づけを行い、ネットワークを構築する。

地域内の情報共有と地域外に対する情報伝達手段としてパンフレット作成やインターネットホームページの充実、更に携帯電話利用者に対するホームページ作成により情報発信を行う。特に福岡都市圏住民に対し積極的な働き掛けを行い交流機会を設ける。例えばモニターツアーを開催して福岡より1時間の利便性、癒しの地域のアピールを行う。

応募団体名	玖珠町商工会
リンク	
部局／担当者名	事務局長 日隈一秀
連絡先	0973-72-1211
推薦市町村名	大分県玖珠町